

施策評価シート

年度

6

1. 基本情報

まちづくり目標	安心して暮らせる、強くなやかなまち		
施策	安全で安心なまちづくり		
基本施策	防災力の強化		
取り組み事項	災害への備えの充実を図る		
主管部局	企画総務部 危機管理課	関連部局	

めざす暮らしの姿

防災力の強化

基本方針

過去の災害や新型コロナウイルス感染症などの教訓を踏まえ、被害を最小限に食い止めるために関係機関と連携し、情報提供体制や災害などへの対応力の強化を図ります。
安全で安心なまちづくりを推進していくために、消防・防災体制を充実させ、災害時に迅速かつ的確に対応できる、地域防災力が高く、災害に強いまちを目指します。

施策の方針

各種災害・感染症に備えるため、災害発生時または緊急時における迅速かつ確な初動体制の確立、連携強化、物資の備蓄及び調達体制の充実に努めます。
避難行動要支援者に対する地域の支援体制の充実など、効果的な避難体制の整備を自主防災組織など関係機関と連携しながら取り組みます。

2. 事業費

(1) 歳出

単位：人、円

	実績値					計画値
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度決算	令和7年度予算	令和8年度
正規職員数	1.6	1.2	1.25	1.05	1.2	0.35
会計年度任用職員数	0.43	0.38	0.58	0.28	0.38	0.08
人件費計	11,464,018	9,736,426	8,978,811	7,888,874	9,482,480	2,699,446
事業費計	39,390,351	21,061,595	18,995,758	15,361,334	33,658,000	461,000
フルコスト	50,854,369	30,798,021	27,974,569	23,250,208	43,140,480	3,160,446

(2) 歳入

単位：人、円

	実績値					計画値
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度決算	令和7年度予算	令和8年度
特定財源	国庫支出金	700,000	0			0
	県支出金					0
	市債				8,300,000	0
	その他					0
一般財源1	50,154,369	30,798,021	27,974,569	23,250,208	34,840,480	3,160,446
一般財源2	38,690,351	21,061,595	18,995,758	15,361,334	25,358,000	461,000

3. 成果指標

(1) 成果指標

指標名	防災訓練参加人数					
単位	人					
指標数値のめざす方向	維持					
年度	R3	R4	R5	R6	R7	R8
単年度目標値	28,647	28,237	28,050	27,244	26,764	26,764
単年度実績値	28,237	28,050	27,244	27,070		
単年度達成率	98.56%	99.33%	97.12%	99.36%	-	-

(2) 施策成果指標の結果に対する所見

成果指標	防災訓練参加人数
前年度との比較	↓：低下
所見	兵庫県南海トラフ地震津波一斉避難訓練に伴い、シェイクアウト訓練を実施した。市ホームページ、市公式LINE、防災ネット、自治会での回覧による周知を行った。

事務事業評価シート

年度

6

1. 基本情報

事業番号	020102010003	事務事業名	防災訓練事業
まちづくり目標	安心して暮らせる、強くなやかなまち	施策	安全で安心なまちづくり
基本施策	防災力の強化	取り組み事項	災害への備えの充実を図る
部名	企画総務部	課名	危機管理課
事業の開始		終了年度	なし
実施の概要	市民、自主防災組織、防災士等、幅広い関係組織等の参加を求め、防災訓練を実施する。また、南海トラフ地震を想定したシェイクアウト訓練を実施する。		
対象	市民、自主防災組織等		
目的	防災訓練を通じて、市民等の防災に関する知識・理解が深められるとともに、関係組織等の協力を含めた防災体制の強化を図る。		
事務事業類型	ソフト事業		
関連計画	地域防災計画		
根拠法令			

2. 事業費

(1) 歳出

単位:人、円

	実績値					計画値
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度決算	令和7年度予算	令和8年度
正規職員数	0.1	0.1	0.2	0.2	0.15	0.15
会計年度任用職員数	0.03	0.03	0.03	0.03	0.03	0.03
人件費計	720,901	808,927	1,342,526	1,458,076	1,147,693	1,147,693
事業費計	0	0	0	0	9,000	9,000
フルコスト	720,901	808,927	1,342,526	1,458,076	1,156,693	1,156,693

(2) 歳入

単位:人、円

	実績値					計画値
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度決算	令和7年度予算	令和8年度
特定財源	国庫支出金	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
フルコストー特定財源	720,901	808,927	1,342,526	1,458,076	1,156,693	1,156,693
事業費計ー特定財源	0	0	0	0	9,000	9,000

3. 評価指標

(1) 活動指標

指標名	【質】防災訓練参加者数					
単位	人					
指標数値のめざす方向	維持					
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
単年度計画値	28,647	28,237	28,050	28,050	26,764	26,764
単年度実績値	28,237	28,050	27,244	27,070		
前年比	-	99.33%	97.12%	99.36%	-	-
単年度達成率	98.56%	99.33%	97.12%	96.5%	-	-

(2)コスト指標

指標名1	防災訓練参加者1人あたりのフルコスト					
単位	人/円					
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
単年度計画値	25.165	28.6478	47.8619	51.9813	43.2182	43.2182
単年度実績値	25.5304	28.8388	49.2779	53.8632		

4. 事後評価

(1) 評価のまとめ

評価視点	評価点	評価内容	課題認識
妥当性	B:比較的妥当である	平時から防災に対する意識を常に高め、実践的な対応力をかん養することができた。	なし
有効性	B:比較的有効である	市民の避難意識の更なる高揚と地域防災力の向上を図ることができた。	なし
効率性	-	現状、シェイクアウト訓練のみの実施に留まっており、適切な評価ができない。	該当なし
改革・改善プラン達成度	C:改革改善効果が低い	現状、シェイクアウト訓練のみの実施に留まっており、地域防災力の向上への効果は高いとは言い難い。	あり
透明性	B:比較的透明性を確保している	市ホームページ、市公式LINE、防災ネット、自治会での回覧による周知を行い、訓練への参加を広く呼びかけた。	なし

(2) 総合評価

総合評価
B

(3) 方向性評価(担当者)

方向性	C:改善・見直しの上で継続
所見	シェイクアウト訓練は実施しているが、集団訓練は実施できていない。今後は自主防災組織との合同訓練など、実践的な集団訓練の実施を目指す必要がある。
休止・廃止となったときの影響	市民等が自主防災の自覚を失い、事前の備えや、災害時の行動に関する心構えなど防災対策が疎かになり、災害による被害が拡大するおそれがある。

(4) 方向性評価(施策担当者)

方向性	C:改善・見直しの上で継続
所見	多数の市民が参加できるよう、実施方法や訓練内容を工夫し、実践的な防災訓練の実施に取り組む。

事務事業評価シート

年度

6

1. 基本情報

事業番号	020102010004	事務事業名	自主防災組織事業
まちづくり目標	安心して暮らせる、強くなやかなまち	施策	安全で安心なまちづくり
基本施策	防災力の強化	取り組み事項	災害への備えの充実を図る
部名	企画総務部	課名	危機管理課
事業の開始		終了年度	なし
実施の概要	「自らのまちは、自ら守る」という理念のもとに市民で結成された自主防災組織に対して、訓練指導及び訓練補助を行う。		
対象	市民及び自主防災組織		
目的	平常時から自主防災に対する意識の醸成を図り、災害時とともに助け合うことのできる体制をつくることにより、地域住民の被害を軽減させる。		
事務事業類型	ソフト事業		
関連計画			
根拠法令			

2. 事業費

(1) 歳出

単位：人、円

	実績値					計画値
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度決算	令和7年度予算	令和8年度
正規職員数	0.1	0.1	0.15	0.15	0.2	0.2
会計年度任用職員数	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05
人件費計	749,065	838,220	1,048,093	1,146,082	1,551,753	1,551,753
事業費計	97,162	91,984	254,410	165,804	452,000	452,000
フルコスト	846,227	930,204	1,302,503	1,311,886	2,003,753	2,003,753

(2) 歳入

単位：人、円

	実績値					計画値
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度決算	令和7年度予算	令和8年度
特定財源	国庫支出金	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
フルコストー特定財源	846,227	930,204	1,302,503	1,311,886	2,003,753	2,003,753
事業費計ー特定財源	97,162	91,984	254,410	165,804	452,000	452,000

3. 評価指標

(1) 活動指標

指標名	【量】自主防災組織活動費補助団体					
単位	件					
指標数値のめざす方向	増加					
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
単年度計画値	14	14	14	14	14	
単年度実績値	3	3	8	6		
前年比	-	100%	266.66%	75%	-	-
単年度達成率	21.42%	21.42%	57.14%	42.85%	-	-

(2)コスト指標

指標名1	自主防災組織活動補助1件あたりのフルコスト					
単位	円/件					
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
単年度計画値	60,444.7857	66,443.1429	93,035.9286	93,706.1429	143,125.2143	
単年度実績値	282,075.6667	310,068	162,812.875	218,647.6667		

4. 事後評価

(1) 評価のまとめ

評価視点	評価点	評価内容	課題認識
妥当性	B:比較的妥当である	災害発生時における地域の防災活動は非常に重要であり、訓練補助を行うことで自主防災組織の積極的な活動を図る。	あり
有効性	B:比較的有効である	自主防災組織による訓練の実施促進を図るため、より有効に事業活用してもらえるよう積極的、継続的にアプローチをすることにより、有効性は高まる。	あり
効率性	C:効率性が低い	コロナ禍以後、多数での訓練実施が減少したことで、組織内で実施についての引継等が行われていない現状がある。	あり
改革・改善プラン達成度	C:改革改善効果が低い	図上訓練など、少人数で可能な訓練方法を推奨していく必要がある。	あり
透明性	B:比較的透明性を確保している	年度当初に自治会へ補助事業実施の情報提供を行っている。	あり

(2) 総合評価

総合評価
B

(3) 方向性評価(担当者)

方向性	B:現状のまま継続
所見	訓練助成を活用する自主防災組織も年々減少し、例年同じ組織が取り組んでいる状況から、他地域も活動を促進するための周知・広報活動が必要である。
休止・廃止となったときの影響	地域における防災意識が低下し、災害時の対応が遅れ、市民の生命と財産に影響を及ぼす。

(4) 方向性評価(施策担当者)

方向性	B:現状のまま継続
所見	地域における防災意識を高め、相互に助け合うことができる関係性の構築を図るため、引き続き実施する。

施策評価シート

年度

6

1. 基本情報

まちづくり目標	安心して暮らせる、強くなやかなまち		
施策	安全で安心なまちづくり		
基本施策	防災力の強化		
取り組み事項	非常備消防体制の強化を図る		
主管部局	企画総務部 危機管理課	関連部局	

めざす暮らしの姿

防災力の強化

基本方針

消防団が持つ地域密着性及び即時対応力といった特性を最大限に活かし地域防災力向上のため、消防団員の確保を行い、非常備消防体制の充実を目指します。

施策の方針

消防団の装備の充実及び訓練の強化を図るとともに、消防団員の確保を行い、地域における機動力の維持に努めます。
また、西はりま消防組合との連携を強化し、非常備消防体制の充実を図り、地域防災力の向上に努めます。

2. 事業費

(1) 歳出

単位：人、円

	実績値					計画値
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度決算	令和7年度予算	令和8年度
正規職員数	0.8	1.05	1.1	1.2	1.1	1.2
会計年度任用職員数	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3
人件費計	5,851,707	8,471,772	7,586,144	8,977,656	8,588,380	9,310,518
事業費計	43,729,467	64,430,055	117,731,083	129,162,640	94,263,000	55,410,665
フルコスト	49,581,174	72,901,827	125,317,227	138,140,296	102,851,380	64,721,183

(2) 歳入

単位：人、円

	実績値					計画値
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度決算	令和7年度予算	令和8年度
特定財源						
国庫支出金		210,000	147,000	0	1,650,000	1,650,000
県支出金						0
市債		22,800,000	26,600,000	60,900,000	32,800,000	0
その他	6,846,564	5,535,000	49,371,000	12,602,000	12,214,000	11,974,000
一般財源1	42,734,610	44,356,827	49,199,227	64,638,296	56,187,380	51,097,183
一般財源2	36,882,903	35,885,055	41,613,083	55,660,640	47,599,000	41,786,665

3. 成果指標

(1) 成果指標

指標名	消防団員数					
単位	人					
指標数値のめざす方向	維持					
年度	R3	R4	R5	R6	R7	R8
単年度目標値	520	520	450	450	450	450
単年度実績値	499	503	443	434		
単年度達成率	95.96%	96.73%	98.44%	96.44%	-	-

(2) 施策成果指標の結果に対する所見

成果指標	消防団員数
前年度との比較	↓：低下
所見	令和7年3月31日付けでの人数であるが、令和7年4月1日付け入団者がいるため現状は442人である。

事務事業評価シート

年度

6

1. 基本情報

事業番号	020102010003	事務事業名	防災訓練事業
まちづくり目標	安心して暮らせる、強くなやかなまち	施策	安全で安心なまちづくり
基本施策	防災力の強化	取り組み事項	災害への備えの充実を図る
部名	企画総務部	課名	危機管理課
事業の開始		終了年度	なし
実施の概要	市民、自主防災組織、防災士等、幅広い関係組織等の参加を求め、防災訓練を実施する。また、南海トラフ地震を想定したシェイクアウト訓練を実施する。		
対象	市民、自主防災組織等		
目的	防災訓練を通じて、市民等の防災に関する知識・理解が深められるとともに、関係組織等の協力を含めた防災体制の強化を図る。		
事務事業類型	ソフト事業		
関連計画	地域防災計画		
根拠法令			

2. 事業費

(1) 歳出

単位:人、円

	実績値					計画値
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度決算	令和7年度予算	令和8年度
正規職員数	0.1	0.1	0.2	0.2	0.15	0.15
会計年度任用職員数	0.03	0.03	0.03	0.03	0.03	0.03
人件費計	720,901	808,927	1,342,526	1,458,076	1,147,693	1,147,693
事業費計	0	0	0	0	9,000	9,000
フルコスト	720,901	808,927	1,342,526	1,458,076	1,156,693	1,156,693

(2) 歳入

単位:人、円

	実績値					計画値
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度決算	令和7年度予算	令和8年度
特定財源	国庫支出金	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
フルコストー特定財源	720,901	808,927	1,342,526	1,458,076	1,156,693	1,156,693
事業費計ー特定財源	0	0	0	0	9,000	9,000

3. 評価指標

(1) 活動指標

指標名	【質】防災訓練参加者数					
単位	人					
指標数値のめざす方向	維持					
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
単年度計画値	28,647	28,237	28,050	28,050	26,764	26,764
単年度実績値	28,237	28,050	27,244	27,070		
前年比	-	99.33%	97.12%	99.36%	-	-
単年度達成率	98.56%	99.33%	97.12%	96.5%	-	-

(2)コスト指標

指標名1	防災訓練参加者1人あたりのフルコスト					
単位	人/円					
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
単年度計画値	25.165	28.6478	47.8619	51.9813	43.2182	43.2182
単年度実績値	25.5304	28.8388	49.2779	53.8632		

4. 事後評価

(1) 評価のまとめ

評価視点	評価点	評価内容	課題認識
妥当性	B: 比較的妥当である	平時から防災に対する意識を常に高め、実践的な対応力をかん養することができた。	なし
有効性	B: 比較的有効である	市民の避難意識の更なる高揚と地域防災力の向上を図ることができた。	なし
効率性	-	現状、シェイクアウト訓練のみの実施に留まっており、適切な評価ができない。	該当なし
改革・改善プラン達成度	C: 改革改善効果が低い	現状、シェイクアウト訓練のみの実施に留まっており、地域防災力の向上への効果は高いとは言い難い。	あり
透明性	B: 比較的透明性を確保している	市ホームページ、市公式LINE、防災ネット、自治会での回覧による周知を行い、訓練への参加を広く呼びかけた。	なし

(2) 総合評価

総合評価
B

(3) 方向性評価(担当者)

方向性	C: 改善・見直しの上で継続
所見	シェイクアウト訓練は実施しているが、集団訓練は実施できていない。今後は自主防災組織との合同訓練など、実践的な集団訓練の実施を目指す必要がある。
休止・廃止となったときの影響	市民等が自主防災の自覚を失い、事前の備えや、災害時の行動に関する心構えなど防災対策が疎かになり、災害による被害が拡大するおそれがある。

(4) 方向性評価(施策担当者)

方向性	C: 改善・見直しの上で継続
所見	多数の市民が参加できるよう、実施方法や訓練内容を工夫し、実践的な防災訓練の実施に取り組む。

事務事業評価シート

年度

6

1. 基本情報

事業番号	020102010004	事務事業名	自主防災組織事業
まちづくり目標	安心して暮らせる、強くなやかなまち	施策	安全で安心なまちづくり
基本施策	防災力の強化	取り組み事項	災害への備えの充実を図る
部名	企画総務部	課名	危機管理課
事業の開始		終了年度	なし
実施の概要	「自らのまちは、自ら守る」という理念のもとに市民で結成された自主防災組織に対して、訓練指導及び訓練補助を行う。		
対象	市民及び自主防災組織		
目的	平常時から自主防災に対する意識の醸成を図り、災害時とともに助け合うことのできる体制をつくることにより、地域住民の被害を軽減させる。		
事務事業類型	ソフト事業		
関連計画			
根拠法令			

2. 事業費

(1) 歳出

単位:人、円

	実績値					計画値
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度決算	令和7年度予算	令和8年度
正規職員数	0.1	0.1	0.15	0.15	0.2	0.2
会計年度任用職員数	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05
人件費計	749,065	838,220	1,048,093	1,146,082	1,551,753	1,551,753
事業費計	97,162	91,984	254,410	165,804	452,000	452,000
フルコスト	846,227	930,204	1,302,503	1,311,886	2,003,753	2,003,753

(2) 歳入

単位:人、円

	実績値					計画値
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度決算	令和7年度予算	令和8年度
特定財源	国庫支出金	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
フルコストー特定財源	846,227	930,204	1,302,503	1,311,886	2,003,753	2,003,753
事業費計ー特定財源	97,162	91,984	254,410	165,804	452,000	452,000

3. 評価指標

(1) 活動指標

指標名	【量】自主防災組織活動費補助団体					
単位	件					
指標数値のめざす方向	増加					
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
単年度計画値	14	14	14	14	14	
単年度実績値	3	3	8	6		
前年比	-	100%	266.66%	75%	-	-
単年度達成率	21.42%	21.42%	57.14%	42.85%	-	-

(2)コスト指標

指標名1	自主防災組織活動補助1件あたりのフルコスト					
単位	円/件					
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
単年度計画値	60,444.7857	66,443.1429	93,035.9286	93,706.1429	143,125.2143	
単年度実績値	282,075.6667	310,068	162,812.875	218,647.6667		

4. 事後評価

(1) 評価のまとめ

評価視点	評価点	評価内容	課題認識
妥当性	B:比較的妥当である	災害発生時における地域の防災活動は非常に重要であり、訓練補助を行うことで自主防災組織の積極的な活動を図る。	あり
有効性	B:比較的有効である	自主防災組織による訓練の実施促進を図るため、より有効に事業活用してもらえるよう積極的、継続的にアプローチをすることにより、有効性は高まる。	あり
効率性	C:効率性が低い	コロナ禍以後、多数での訓練実施が減少したことで、組織内で実施についての引継等が行われていない現状がある。	あり
改革・改善プラン達成度	C:改革改善効果が低い	図上訓練など、少人数で可能な訓練方法を推奨していく必要がある。	あり
透明性	B:比較的透明性を確保している	年度当初に自治会へ補助事業実施の情報提供を行っている。	あり

(2) 総合評価

総合評価
B

(3) 方向性評価(担当者)

方向性	B:現状のまま継続
所見	訓練助成を活用する自主防災組織も年々減少し、例年同じ組織が取り組んでいる状況から、他地域も活動を促進するための周知・広報活動が必要である。
休止・廃止となったときの影響	地域における防災意識が低下し、災害時の対応が遅れ、市民の生命と財産に影響を及ぼす。

(4) 方向性評価(施策担当者)

方向性	B:現状のまま継続
所見	地域における防災意識を高め、相互に助け合うことができる関係性の構築を図るため、引き続き実施する。